

南風原町立南星中学校 第2回学校運営協議会 報告書 (南星中・翔南小・津嘉山小 3校合同)

1 開催日時	令和8年7月17日(金) 18:00～19:20
2 場 所	南星中学校 図書館
3 参 加 者	○南星中学校 當間将之・大宜見さつき・金城亮一・野原広寿・城間明・上地安郁 高嶺結知郎・太田千賀子・與那嶺律子・山内康宏 〈関係者〉細原健太郎・石嶺真哉(学校課題対応教諭) 〈与那原警察署〉 米須清知(与那原署生活安全課長)。山川東子(与那原署少年係長) 宮城勇治(与那原署交番所長) ○津嘉山小学校 与座辰美・大城悦子・當間将之・高嶺結知郎・金城尚子・儀保実希 新垣 仁・玉城寿史・眞榮城裕子・宮里多恵子 ○翔南小学校 宮城寛諄・赤嶺明美・上地安郁・宮城弘之・野原広寿・大宜見さつき 牧志啓子・平良麻奈美・玉榮雄・城間智・大城和之
4 議 題	・学校からの報告(三校の現状と課題) ・熟議1:2学期の学校運営について ・熟議2:夏休み期間の子供たちの見守り体制について
5 議事要旨	(1)各校の現状報告(各校教頭より) <u>翔南小学校</u> 児童・保護者アンケートの結果、子供たちは楽しく過ごしているが、「表現活動」や「家庭でのメディア管理・学習習慣」に課題がある。また、登下校の安全対策や公衆電話撤去に伴う連絡手段への不安が保護者から寄せられている。 <u>津嘉山小学校</u> 教職員への信頼は高いが、児童が自らの意見を積極的に発信する力の育成が今後の焦点となっている。保護者からは家庭学習への協力姿勢が見られる一方、行事等の連絡体制のさらなる迅速化が期待されている。 <u>南星中学校</u> 沖縄県児童生徒質問調査の結果、3年生に顕著な成長が見られる。一方で、1年生を中心に家庭での学習時間が「全くしない」層が県平均より高く、家庭学習の定着が課題である。また、問題行動への対応について生徒・職員で共通理解を図っている。 (2)2学期の学校運営について(各校校長より) <u>翔南小学校</u> 「一人一人を大切に作る学校」を目指し、児童会による肯定的な取組(ハッピーボックス等)を継続し、自己肯定感を高める。2学期は運動会等の行事を通じた地域連携を深め、夏休み明けの学習習慣の定着に取り組む。特に算数の基礎学力向上に向け、放課後学習会の充実など小中接続を見据えた支援を行う。

	津嘉山小学校 安心・安全な学校作りを基盤とし、児童が主体的に活動できる「やらされる感のない委員会活動」への転換に挑戦する。1人1授業の公開を通じた授業改善や、読み解く力の育成によるさらなる学力の向上を推進する。長期休暇明けの問題行動を未然に防ぐため、児童への丁寧な声かけと安全指導の徹底を継続していく。 南星中学校 「自律と共生」をキーワードに、生徒会や専門委員会が自ら企画・運営する活動（810運動や各種プロジェクト）を一層推進する。学習に意欲が向きにくい生徒に対しては、地域の大人の働く姿に触れる職場体験等のキャリア教育を充実させ、学習への意欲向上に繋げたい。主体性を育むため、成功だけでなく失敗も成長の糧とするチャレンジ精神を学校全体で支援していく。 (3) 熟議:夏休み期間の見守りと地域連携 ・津嘉山地区では自治会を中心に自主防犯組織の勉強会を開始しており、地域全体で子供を見守る体制を構築中である。 ・昔に比べ、知らない子供に声をかける文化が薄れているが、「無視しない」「1人1人が声をかける」ことが防犯の根幹である。 ・学校での粘り強い指導（面談や段階的指導）を地域も理解し、家庭・学校・地域・警察等関係機関が同じ方向を向いて、情報共有を行うことが重要である。 〈与那原警察署より現状と助言〉 ・与那原署管内の小中学生の問題行動の現状を報告。南星中校区の子どもたちによる問題行動が増えていること、また警察も対応に苦慮していることがある。問題行動を行っている子への対応の仕方、自治会による自主防犯組織を立ち上げるにあたっての助言をいただく等、情報交換を行った。 ・南星中校区では生徒の触法行為等の取り扱いが多い現状がある。声をかける際は「頭ごなしに叱る」のではなく、まずは対話を試みてほしい。危険を感じたら速やかに通報してほしい。 〈見守りのあり方〉 「知らない子だから声をかけにくい」という不安に対し、まずは挨拶や優しい会話から始めることが重要性。学校・家庭・警察・地域が情報を共有し、「大人の目がある」ことを示し続けることが、子供たちの安全と健全育成に繋がる。
6 次回予定	・11月予定。